

秋商工発第 331 号  
2024 年 8 月 30 日

各 位

秋田商工会議所  
会 頭 辻 良 之



## カーボンニュートラル加速化に向けた企業視察のご案内について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素、当所の運営につきましては格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当所ではカーボンニュートラルの加速化に向け、水素等の製造・利活用について先進的な取組をしている山梨県甲府市と神奈川県川崎市への視察を企画いたしました。

つきましては、下記のとおりご案内申し上げますので、関心のある事業所におかれましては、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。 敬具

### 記

1. 日 程 2024年11月12日(火)～13日(水)

2. 内 容 【12日(火) 山梨県甲府市・北杜市】

- (1) 米倉山 電力貯蔵技術研究サイト
- (2) キッツ長坂工場

【13日(水) 神奈川県川崎市】

- (1) 川崎キングスカイフロント東急 REI ホテル
- (2) JFE スチール東日本製鉄所京浜地区
- (3) レゾナック川崎事業所

3. 行 程

11/12 (火) 【1日目】	
12:50	甲府駅南口集合(移動:中型バス、南口観光案内所前乗車)
13:30~14:30	視察① 米倉山 電力貯蔵技術研究サイト
15:30~16:30	視察② キッツ長坂工場
17:30	甲府駅付近(観光案内所前)解散
11/13 (水) 【2日目】	
10:00	東急 REI ホテル集合
10:00~10:40	川崎市施策説明・意見交換
10:40~11:35	視察①川崎キングスカイフロント東急 REI ホテル
11:40~12:10	昼食(会場:ホテル、昼食後移動:中型バス)
12:45~14:00	視察②JFE スチール東日本製鉄所京浜地区
14:30~16:00	視察③レゾナック川崎事業所
16:50	川崎駅周辺(砂子交差点付近)解散

※各集合場所および解散後の交通手段は各自でお手配願います。

(東急 REI レイホテルへご宿泊希望の方は当所で取次いたしますので、希望される方は申込時にお知らせください。)

※交通手段の参考は右QRよりご確認ください。

4. 定 員 20名 ※先着順、定員到達次第締切



5. 参加費 税込 6,000 円 (内訳: 2 日目昼食費 3,700 円、バス関連費 2,300 円)

※参加者確定後に請求書を送付いたします。

※当所取次の東急 REI ホテルに関する料金等は以下のとおりです。

(料 金)税込 16,170 円 (内 容) スーペリアダブル・朝食付  
(キャンセル料)14~8 日前: 20%、7~2 日前: 50%、前日・当日・不泊: 100%  
(留意事項)ホテルへの宿泊者情報提供は申込締切後に行います。

その後のホテルとの契約者は希望者各自となりますので、キャンセル等のご連絡や精算はホテルへ直接行っていただきます。

6. 申込方法 WEB 申込 (以下 URL または QR) にてお申し込みください。

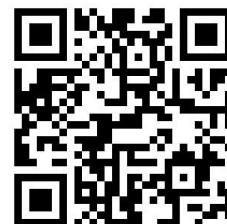
<https://forms.gle/MKeoKbaMm2esgBJYA>

7. 申込締切 **9月25日(水)**

8. 共 催 あきた次世代エネルギーコンソーシアム

【問合せ先】 秋田商工会議所企画振興課 厚木

TEL: 018-866-6679 Mail: carbonneutral@akitacci.or.jp

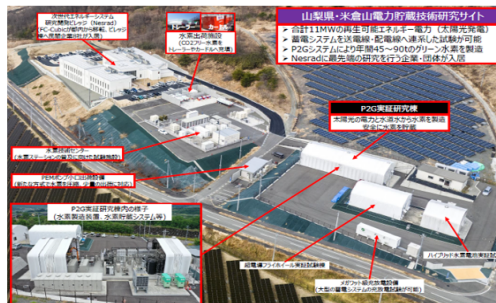


## <視察先概要>

### 12日: 山梨県甲府市・北杜市 視察概要

#### <米倉山(甲府市)・キッツ長坂工場(北杜市)>

- 山梨県企業局では、NEDO委託事業として再エネ電力と水からグリーン水素を製造する「P2G(パワー・ツー・ガス)システム」の開発に着手し、2021年にはグリーン水素を製造・貯蔵・輸送・利用する一貫したシステムによる社会実証試験を行っている。
- 米倉山電力貯蔵技術研究サイトには、P2Gシステムだけでなく、メガワット級充放電設備、ハイブリット水素電池などの実証試験設備が集約している。
- キッツ長坂工場では、FCフォークリフトと水素供給用の自家用水素ステーションを所有しており、米倉山で製造されたグリーン水素が同工場へ有償供給されている。
- 燃料利用の社会実証に取組み、当該ステーションで使用している水素を、化石燃料由来からグリーン水素へ切り替える計画としている。



### 13日: 神奈川県川崎市 視察概要

#### <レゾナック・東急REIホテル・JFE>

- 川崎市は、政令指定都市の製造品出荷額で1位であるが、一方で、温室効果ガス排出量が政令都市最多となっており、そのうち川崎区がある臨海部で73%を占めている。これを解消するため、2022年に川崎カーボンニュートラルコンビナート構想が策定された。本構想に関連した動きが広がりを見せている。
- レゾナック川崎事業所では、使用済みプラスチックから製造した水素をパイプラインで5km先にある東急REIホテルへ供給。
- 東急REIホテルでは、水素燃料電池ユニットを設置し水素を受給。実証段階では水素由来の電力によりホテル全体の約30%の消費エネルギーを賄い「世界初の水素ホテル」として注目を集めている。
- JFEでは、川崎市と連携協定を締結し、高炉休止に伴う約400ha規模の大規模な土地利用転換を「水素を軸としたカーボンニュートラルの拠点」と整理。カーボンニュートラルに資する企業等の誘致を計画している。

